



TOWAKAI U NIVERSAL M EDICAL S ERVICEの情報をフルにお届け！



タムス浦安病院 vol.1

- ▶ 回復期リハビリテーション病棟
- ▶ 地域包括ケア病棟
- ▶ 緩和ケア病棟

診療科目

内科
リハビリテーション科
緩和ケア内科



ご挨拶



タムス浦安病院は、浦安市、千葉大学、城東桐和会の三者が連携し設立した回復期リハビリテーションを中心とした病院です。当院では、浦安市になかった回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟、更に地域包括ケア病棟を有することで地域との密接な連携に取り組んでいるところです。

この他、当院の大きな特徴が「千葉大学病院浦安リハビリテーション教育センター」を併設したことです。

これにより、千葉大学の高度な教育、研修、研究のフィールドを確保することができ、自院の医療レベルを向上させることは言うまでもありませんが、この組織が地域で活用いただけるような様々な仕組みづくりを行っています。3年目を迎え、これらの取り組みをさらに充実・発展させるよう努めてまいります。



令和3年7月

理事長 岡本和久

ご挨拶
看護部長代行 高木真由美



タムス浦安病院看護部長代行に就任いたしました高木真由美と申します。看護部長代行の任を頂いたことを大変光栄に感じるとともに責務の重さを感じております。急性期病院で今まで経験したことを活かし、地域社会との密接な連携に努め、「患者様から選ばれる病院」「地域の皆様に愛され、信頼される病院」となれるよう、看護部を運営いたします。

また、多職種の方々と連携をとりながら一つひとつ問題を解決し、よりよい看護が実践できるように私自身も成長していきたいと考えております。看護部長が培ってきたことを大切にしながら、今後この地域を支えていくスタッフが、看護専門職として「患者様を生活者として捉え、医療や看護を考え実践すること」に力を注げるように尽力してまいります。皆様にはご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

千葉大学医学部附属病院
浦安リハビリテーション
教育センター通信

タムス浦安病院では開院時より浦安市・千葉大学・城東桐和会が連携し日本初の官・公・民による運営を行っています。そこで、タムス浦安病院では医療運営の三本柱と言われる臨床・研究・教育のさらなる向上・我々スタッフの自己研鑽のため定期的に千葉大学医学部と連携した勉強会を行っています。現在は新型コロナウイルスへの感染対策のため、従来の対面による講演形式ではなくZoomを使用したりリモート形式での講演となっております。直近では鈴木浩太郎准教授による「ステロイドの副作用」を開催し、知見を深めると共に日々の臨床業務の質の向上へ直結する体験となりました。今後もこのトピックスでは浦安市・千葉大学・城東桐和会の連携した取り組みをご紹介しますと思います。



撮影：理事長
『菜の花絨毯つくります』



千葉県浦安市高洲 7-2-32

047-312-6765

